

## 名誉博士学位贈呈者一覧

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
1	いしばし たんざん 石橋 湛山 生 1884. 9. 25	Doctor of Laws	1957. 10. 20	民主政治の健全な発展に寄与し、国際経済の堅実な発展に貢献した功績による。	内閣総理大臣、 校友
2	パンデット・ジャワハラル・ネル PANDIT JAWAHARLAL NEHRU 生 1889. 11. 14	〃	1957. 10. 7	国際政治上重要な役割を果たし、人類の平和と福祉に貢献した功績による。	インド首相
3	コンラッド・アデナウアー KONRAD ADENAUER 生 1876. 1. 5	〃	1960. 3. 31	祖国の復興と民主政治の健全な発展に貢献した功績による。	ドイツ連邦共和国（西独） 首相
4	アルトゥロ・フロンディシ ARTURO FRONDIZI 生 1908. 10. 28	〃	1961. 12. 15	国内政局を安定し、民主主義の発達と経済の興隆に偉功をたて日本国との友好関係の促進に寄与し、人類の平和と福祉の増進に貢献した功績による。	アルゼンチン 共和国大統領
5	ハラン・ヘンソン・ハッチャー HARLAN HENTHORNE HATCHER 生 1898. 9. 9	Doctor of Letters	1962. 10. 20	大学教育の水準の向上と発展に重要な役割を果たし、学術文化の国際交流に寄与した功績による。	ミシガン大学 総長
6	まつむら けんぞう 松村 謙三 生 1883. 1. 24	Doctor of Laws	1962. 10. 20	民主政治の健全な発展に寄与し、国際政局の安定に貢献した功績による。	衆議院議員、 校友
7	さえき よしろう 佐伯 好郎 生 1871. 8. 1	〃	1962. 10. 20	景教はじめキリスト教東漸の歴史を探究し、幾多の独創的研究により学界に新たな知見を加え、学術文化の向上に寄与するとともに国際交流に貢献した功績による。	校友
8	くぼた みちはる 窪田 通治 生 1877. 6. 8	Doctor of Letters	1963. 11. 10	独自の歌風を創建し、古典文学の根本的研究に新分野を開拓し、学界に新たな知見を加え、学術文化の水準の向上に貢献した功績による。	日本芸術院会 員、文化功勞 者、早稲田大学 名誉教授、校友

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
9	ないとう たちゅう 内藤多仲 生 1886. 6. 12	Doctor of Science	1963. 11. 10	建築における耐震構造、特に近代高層建築の耐震設計方針を確立し、建築技術の向上に画期的な貢献をした功績による。	日本学士院会員、文化功勞者、早稲田大学名誉教授、校友
10	あだち ただし 足立正 生 1883. 2. 28	Doctor of Laws	1965. 6. 18	わが国の産業経済の発展と国際経済の交流に貢献した功績による。	日本商工会議所会頭
11	はら やすさぶろう 原安三郎 生 1884. 3. 10	〃	1965. 6. 18	わが国の産業・経済・社会の進歩発展と私学の振興・社会福祉の増進に貢献した功績による	日本化薬社長、早稲田大学評議員、校友
12	まつした こうのすけ 松下幸之助 生 1894. 11. 27	〃	1965. 6. 18	わが国の産業の発展・経済の成長・海外貿易の進展と社会公共のために貢献した功績による。	松下電器産業会長
13	グレイソン・ルイス・カーク GRAYSON LOUIS KIRK 生 1903. 10. 12	〃	1965. 9. 7	大学教育の向上と学術文化の向上に寄与し、文化の国際交流に貢献した功績による。	コロンビア大学総長
14	ユージン・ロバート・ブラック EUGENE ROBERT BLACK 生 1898. 5. 1	〃	1968. 9. 17	世界の経済復興開発に献身し、特にわが国の産業経済の成長発展に寄与した功績による。	前国際復興開発銀行総裁
15	チェ ドゥソン 崔斗善 Choe Duson 生 1894. 11. 1	〃	1968. 12. 16	国務総理ほか多くの機関で指導的な役割を果たすなど、祖国の復興と経済発展に尽力するとともに日韓両国間の文化交流に貢献した功績による。	韓国赤十字社総裁、大韓民国前国務総理、校友
16	インデラ・ガンジー SHRIMATI INDIRA GANDHI 生 1917. 11. 19	〃	1969. 6. 27	第二次世界大戦後における植民地開放運動の先駆者としてインドのみならず、世界史的な新時代の開拓と世界平和に貢献した功績による。	インド首相

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
17	ランドラム・ライマー・ボリング LANDRUM RYMER BOLLING 生 1913. 11. 13	Doctor of Laws	1972. 9. 6	大学間の国際交流、特に早稲田大学国際部の発展に多大な貢献をした功績による。	アーラム大学 総長
18	むらのとうご 村野藤吾 生 1891. 5. 15	Doctor of Letters	1973. 12. 14	建築芸術に独自の造形を確立し、建築技術の向上と後進育成のための奨学基金を設定する等国家社会並びに學術文化に多大な貢献をした功績による。	文化勲章受賞者、 校友
19	ハンス・ハインリッヒ・イエシエック HANS-HEINRICH JESCHECK 生 1915. 1. 10	Doctor of Laws	1978. 9. 20	刑法学特に比較刑法の研究に努め、本大学との学术交流に尽し、学問の発展と學術の国際交流に寄与した功績による。	フライブルク 大学教授
20	いぶかまさる 井深大 生 1908. 4. 11	Doctor of Science	1979. 10. 13	電子工学の発展に画期的な役割を果たし、経済の発展並びに社会の進歩に寄与した功績による。	ソニー株式会社 取締役名誉 会長、校友
21	ヘルベルト・フォン・カラヤン HERBERT VON KARAJAN 生 1908. 4. 5	Doctor of Letters	1979. 10. 13	古典音楽を最も純粋な形で新しい装いのもとによみがえらせ、音楽芸術の発展に寄与した功績による。	ベルリン・フィル ハーモニー 管弦楽団終身 常任指揮者
22	フランソワ・モーリス・ミテラン FRANSOIS MAURICE MITTERRAND 生 1916. 10. 26	Doctor of Laws	1982. 4. 15	民主政治の健全な発展に寄与し、學術文化の国際交流に貢献した功績による。	フランス共和 国大統領
23	ジェームズ・ウィリアム・フルブライト JAMES WILLIAM FULBRIGHT 生 1905. 4. 9	〃	1982. 6. 21	上院外交委員会委員長を務める等、多年にわたり世界の平和に貢献するとともにフルブライト法を提案し、學術文化の国際交流を推進することによって国際相互理解に寄与した功績による。	アメリカ合衆 国元上院議員
24	こうのけんぞう 河野謙三 生 1901. 5. 14	〃	1982. 9. 22	わが国議会政治の健全な発達に献身し、わが国のアマチュア・スポーツの振興に努め、また早稲田スポーツの向上に貢献した功績による。	参議院議員、早 稲田大学評議 員、早稲田大学 商議員、校友

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
25	リャオ チョンチー 廖 承 志 Liao Cheng Zhi 生 1908. 9. 25	Doctor of Laws	1982. 9. 30	多年にわたり中華人民共和国、日本国両国の友好促進のために献身し、両国民の相互理解に貢献した功績による。	中華人民共和国 全国人民代表大 会常務委員会副 委員長、中日友 好協会会長
26	ハンス・ヤコブ・クルェムメル HANS-JAKOB KRUEMMEL 生 1928. 10. 22	〃	1982. 10. 20	ボン大学前総長として、研究・教育の向上に献身し、自らも経済学の研究において多大な貢献をなし、また本大学との協定に基づく学術交流に寄与した功績による。	ボン大学前総 長
27	ピエール・タバトニ PIERRE TABATONI 生 1923. 2. 9	〃	1982. 10. 20	パリ大学区総長として、研究・教育の向上に献身し、自らも経済学の研究において多大な貢献をなし、また本大学との協定に基づく学術交流に寄与した功績による。	パリ大学区総 長
28	アナトリー・アレクセーエヴィッチ ログノフ ANATOLII A. LOGUNOV 生 1926. 2. 30	Doctor of Science	1982. 10. 20	モスクワ大学総長として、研究・教育の向上に献身し、自らも物理学の研究において多大な貢献を成し、また本大学との協定に基づく学術交流に寄与した功績による。	モスクワ大学 総長
29	キム サン ヒュッブ 金 相 浹 Kim Sang Hyup 生 1920. 4. 20	Doctor of Laws	1982. 10. 20	高麗大学校前総長として、研究・教育の向上に献身し、自らも政治学の研究において多大な貢献をなし、また本大学との協定に基づく学術交流に寄与した功績による。	高麗大学校前 総長、大韓民国 国務総理
30	ウンクウ・アブドル・アジズ UNGKU ABDUL AZIZ 生 1922. 1. 28	〃	1982. 10. 20	経済学の研究に多大な貢献をなすとともに、マラヤ大学副学長として学術研究の向上発展に献身し、また東南アジアの学術研究教育において指導的役割を果たした功績による。	マラヤ大学副 学長
31	キム サン マン 金 相 万 Kim Sang-Man 生 1910. 1. 19	〃	1985. 4. 1	多年にわたり東亜日報社社長、亜細亜新聞協会会長などとして言論の自由のため献身し、高麗中央学院理事長ならびに早稲田大学韓国同窓会会長として学術文化の向上とその交流を推進することによって日韓両国の相互理解に寄与した功績による。	東亜日報社名 誉会長、高麗中 央学院理事長、 早稲田大学韓 国同窓会会長

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
32	コランゾン・コジュアンゴ・アキノ CORANZON COJUANGCO AQUINO 生 1933. 1. 25	Doctor of Laws	1986. 11. 12	フィリピン共和国に自由と民主主義を回復するために献身し、フィリピン国民に希望と勇気を与え、アジアの平和に寄与した功績による。	フィリピン共和国大統領
33	サンピンファ 孫平化 Sun Ping Hua 生 1917. 8. 20	〃	1988. 3. 25	多年にわたり、日本国、中華人民共和国相互の学術文化の交流に貢献し、また両国の友好促進に献身した功績による。	中日友好協会 会長
34	ハインリッヒ・プファイファー HEINRICH PFEIFFER 生 1927. 1. 27	〃	1989. 1. 28	アレクサンダー・フォン・フンボルト財団の事務総長として、多年にわたり国際学術交流事業に尽力し、世界の学術文化の発展に寄与した功績による。	アレクサンダー・フォン・フンボルト財団 事務総長
35	アンドリュウ・ベンジャミン ゴンザレス ANDREW BENJAMIN GONZALES 生 1940. 2. 29	Doctor of Letters	1989. 3. 25	デ・ラ・サール大学総長としてフィリピン共和国およびアジア地域の教育学術研究の発展向上に寄与するとともに日本国とフィリピン共和国の文化交流に尽力した功績による。	デ・ラ・サール 大学総長
36	ジョン・マニング・ウォード JOHN MANNING WARD 生 1919. 7. 6	〃	1990. 4. 2	歴史学研究への貢献とシドニー大学副総長・学長として同大学の研究教育の発展に寄与するとともに、早稲田大学とシドニー大学の友好関係の促進ならびに日本とオーストラリア両国の相互理解の発展に寄与した功績による。	シドニー大学 前学長
37	ジャクソン・ホルブルック・ベイリー JACKSON HOLBROOK BAILEY 生 1925. 9. 22	〃	1990. 8. 2	日本研究への貢献、早稲田大学国際部の創設と発展に寄与するとともに、日本とアメリカ合衆国の相互理解の促進に尽くした功績による。	アールラム大学 教授
38	たけうち りぞう 竹内理三 生 1907. 12. 20	〃	1992. 4. 2	日本古代史研究への貢献と奈良、平安、鎌倉期の基礎史料を集成刊行し日本史学発展に尽した功績とによる。	元早稲田大学教 授、元東京大学 史料編纂所長、 日本学士院会員
39	ひらやま いくお 平山郁夫 生 1930. 6. 15	〃	1992. 10. 18	日本画壇への貢献と世界の文化財保護と国際的学術調査に果たした功績とによる。	東京芸術大学 学長

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
40	パトリシオ・エイルウィン PATRICIO AYLWIN 生 1918. 11. 26	Doctor of Laws	1992. 11. 19	チリ共和国大統領として、国内政局の安定、民主政治の発達、経済の興隆に献身し、中南米諸国の平和の増進に貢献した功績による。	チリ共和国大統領
41	ブトロス・ブトロス＝ガリー BOUTROS BOUTROS-GHALI 生 1922. 11. 14	〃	1993. 2. 17	国連事務総長として、人類の相互理解ならびに世界平和の促進に主導的役割を果たした功績による。	国連事務総長
42	クルト・フライシュハウアー KURT FLEISCHHAUER 生 1929. 10. 14	Doctor of Science	1993. 4. 1	ボン大学総長として、多年にわたり本大学との学術交流を深め、日本とドイツおよびヨーロッパとの相互理解、学術発展に寄与した功績による。	ボン大学前総長
43	キム ヨンサム 金 泳 三 Kim Young Sam 生 1927. 12. 20	Doctor of Laws	1994. 3. 25	大韓民国大統領として、国内政局の安定と民主政治の発展に献身し大韓民国国民に希望と勇気を与えアジアの平和に寄与した功績による。	大韓民国大統領
44	ネルソン・ロリシユラ・マンデラ NELSON RORHLAHLA MANDELA 生 1918. 7. 18	〃	1995. 7. 4	南アフリカ共和国大統領として、国内における黒人開放を果たすために献身し、南アフリカ共和国国民に希望と勇気を与え人権尊重と世界平和の促進に貢献した功績による。	南アフリカ共和国大統領
45	おおかわ いさお 大川 功 生 1926. 5. 19	Doctor of Science	1996. 4. 1	情報通信分野の発展において指導的役割を果たしわが国の高度情報化社会の推進に貢献した功績による。	(株)CSK代表取締役会長兼社長、校友
46	ツァオ ユンチュン 趙 雲 俊 Zhao Yun jun 生 1932. 2. 6	Doctor of Laws	1997. 4. 1	上海市人民対外友好協会会長として、中華人民共和国 日本国 両国民の文化交流・友好関係の促進に尽力し、世界の人々の相互理解と平和に貢献した功績による。	上海市人民対外友好協会会長
47	ローマン・ヘルツォーク Roman Herzog 生 1934. 4. 5	〃	1997. 4. 7	ドイツ統一後初代の連邦共和国大統領として、国民に勇気と希望を与え、外国からの信頼と尊敬を確保し、国家の安定と向上に貢献した功績による。	ドイツ連邦共和国大統領

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
48	シェイク・ハシナ Sheikh Hasina 生 1947. 9. 28	Doctor of Laws	1997. 7. 4	バングラデシュ人民のためにその半生を捧げ、国際的にも平和・軍縮や民族・人権・女性問題等に積極的に関与し、人類と国家の協調に明るい未来を示した功績による。	バングラデシュ人民共和国首相
49	フィデル・ヴァルデス・ラモス Fidel Valdez RAMOS 生 1928. 3. 18	〃	1997. 11. 18	フィリピン共和国の自由と民主主義の再生、経済再建と社会・政治秩序の確立のために献身し、フィリピン国民に自信と希望を与え、アジアの平和に尽力した功績による。	フィリピン共和国大統領
50	ねもと じろう 根本 二郎 生 1928. 11. 1	〃	1998. 3. 25	わが国海運事業と産業の発展に貢献し、本大学大学院アジア太平洋研究科の開設に寄与した功績による。	日本郵船(株)代表取締役会長、日本経営者団体連盟会長
51	アルフォンソ・ティアオキ・ユチェンコ Alfonso Tiaoqui YUCHENGO 生 1923. 2. 6	〃	1998. 3. 25	フィリピン共和国の外交 産業 教育の発展に貢献し、フィリピン共和国 日本国 両国民の文化交流・友好関係の促進に尽力した功績による。	駐日フィリピン共和国特命全権大使
52	しみず まさひろ 清水 正博 生 1922. 4. 7	〃	1998. 4. 7	独自の計測制御技術の開発とオートメーション産業の育成に貢献し、また本大学施設の充実発展に寄与した功績による。	北辰工業(株)代表取締役会長、校友
53	ドナルド・キーン Donald KEENE 生 1922. 6. 18	Doctor of Letters	1998. 10. 21	日本文学の研究に多大な貢献をなすとともに日本の文学を国際的なものに押し広め、また本大学演劇博物館の充実発展に寄与した功績による。	コロンビア大学名誉教授
54	マ チュンル 馬 俊如 生 1934. 10. 6	Doctor of Science	1998. 12. 10	科学技術分野に多大な貢献をなすとともに国際的人的交流をとおして、本大学と中華人民共和国との友好交流を推進した功績による。	中華人民共和国国家外国專家局前局長
55	コウ ギョクジュ 高 玉樹 生 1913. 9. 3	Doctor of Laws	1999. 3. 25	台湾の民主化と教育の普及に多大な貢献をなすとともに本大学と台湾との国際交流の促進に寄与した功績による。	早稲田大学台湾校友会会長、前台湾総統府資政、校友
56	マイケル・ジョセフ・ムーニー Michael Joseph MOONEY 生 1942. 12. 15	Doctor of Letters	1999. 4. 1	米国における高等教育の使命と現代的課題に取り組むとともに国際教育の発展向上に貢献した功績による。	ルイス・アンド・クラーク大学学長

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
57	ブロニスワフ・ゲレメク Bronisław Geremek 生 1932. 3. 6	Doctor of Letters	2000. 2. 7	ポーランド共和国における市民社会の復活と民主主義の樹立に貢献した功績による。	ポーランド共和国外務大臣、ポーランド科学アカデミー歴史研究所教授
58	キム ジョンリャン 金 鍾 亮 生 1950. 9. 4	〃	2000. 3. 25	教育研究の発展に貢献するとともに本学と学術交流を推進するなど広く国際社会における教育文化の発展に寄与した功績による。	漢陽大学校総長
59	チェン ジャー 陳 佳 洱 生 1934. 10. 1	Doctor of Science	2000. 4. 1	科学技術分野に多大な貢献をなすとともに本大学と学術交流を推進するなど国際社会における教育文化の発展に寄与した功績による。	中国国家自然科学基金主任、前北京大学校長
60	イ ギ ベク 李 基 白 生 1924. 10. 21	Doctor of Letters	2001. 3. 25	国際的な歴史学研究の発展向上に多大な貢献をなすとともに教育者として優秀な後継者の育成に寄与した功績による。	西江大学校名誉教授
61	つちや よしひこ 土 屋 義 彦 生 1926. 5. 31	Doctor of Laws	2001. 3. 25	参議院議長として国家社会・国際交流の発展に多大な貢献をなすとともに埼玉県知事として地方自治活性化を果たし、本大学の理念に絶大な共感を示されその発展に寄与した功績による。	埼玉県知事
62	ハラルド5世国王 His Majesty King Harald V 生 1937. 2. 21	〃	2001. 3. 26	ノルウェー王国において平和主義の発展と福祉国家達成のために献身するとともに人類の相互理解と世界平和の促進に貢献した功績による。	ノルウェー王国国王
63	アルビン エーザー Albin Eser 生 1935. 1. 26	〃	2001. 4. 1	フライブルク大学教授として研究・教育に努めるとともにマックス・プランク外国・国際刑法研究所を通じて本大学との学術交流に尽くすなど学問の発展と学術の国際交流に寄与した功績による。	フライブルク大学教授 マックス・プランク外国・国際刑法研究所 所長
64	キム ビョングアン 金 炳 琯 生 1934. 7. 24	〃	2001. 4. 1	高麗中央学院理事長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	東亜日報社会長 高麗中央学院 理事長
65	おがた さだこ 緒 方 貞 子 生 1927. 9. 16	〃	2001. 4. 1	国連難民高等弁務官の要職を務め人類愛とグローバルな視点により紛争下の難民救出と人権擁護に多大な尽力をなすなど世界平和の実現に寄与した功績による。	前国連難民高等 弁務官

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
66	メガワティ スカルプトル Megawati Soekarnoputeri 生 1947. 1. 23	Doctor of Laws	2001. 9. 29	民主化の促進に尽力しインドネシア共和国国民に勇気と希望を与えアジア太平洋地域の平和に寄与した功績による。	インドネシア共和国 大統領
67	オウ ダイチュウ 王 大 中 生 1935. 2. 11	Doctor of Science	2002. 3. 25	清華大学校長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	清華大学校長
68	ウォルター・クロンキイト Walter Cronkite 生 1916. 11. 4	Doctor of Letters	2002. 3. 25	ジャーナリスト、元ニュースキャスターとして世界的な共感と信頼を得るとともにわが国の報道界にも多大な影響を及ぼした功績による	ジャーナリスト 元ニュースキャスター
69	おかだ たくや 岡 田 卓 也 生 1925. 9. 19	Doctor of Laws	2002. 3. 25	我が国流通業界の発展を主導し、社会貢献活動を国際的規模で推進するとともに本学創立125周年記念事業募金委員会委員長等を務めるなど本学の発展に寄与した功績による。	伊予県名誉会長相談役、伊予県代表取締役会長
70	キョ チコウ 許 智 宏 生 1942. 10. 14	Doctor of Science	2002. 4. 1	北京大学校長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	北京大学校長
71	い で い のぶゆき 出 井 伸 之 生 1937. 11. 22	Doctor of Laws	2002. 4. 1	我が国の高度情報化社会の推進に尽力するとともに寄与した功績による。本学創立125周年記念事業募金副委員会委員長等を務めるなど本学の発展に寄与した功績による。	伊予県代表取締役会長 兼 CEO
72	グロリア・マカパガル・アロヨ Gloria Macapagal-Arroyo 生 1947. 4. 5	Doctor of Laws	2002. 5. 20	フィリピン共和国に対する国際社会の信頼を高めることに貢献し、フィリピン国民に勇気と希望を与え、アジアの平和と安定に尽力した功績による。	フィリピン 共和国大統領
73	イスマーム・アブドゥカニエ ウイッチ・カリモフ Islam Abduganievich Karimov 生 1938. 1. 30	Doctor of Laws	2002. 7. 30	優れた行政手腕と指導力によってウズベキスタン共和国の国家安定に寄与した功績による。	ウズベキスタン 共和国大統領

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
74	ヴラジミール・イヴァノヴィチ・クリロフ Vladimir Ivanovich Kurilov 生 1948. 5. 25	Doctor of Laws	2002. 10. 20	ロシア極東国立総合大学学長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	ロシア極東国立総合大学学長
75	イグナシオ・ベルドゥゴ・ゴメス・デ・ラ・トーレ Ignacio Berdugo Gomez De la Torre 生 1951. 9. 18	Doctor of Laws	2002. 10. 20	サラマンカ大学学長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	サラマンカ大学学長
76	キム ジュンベ 金 貞 培 生 1940. 8. 1	Doctor of Letters	2003. 3. 25	高麗大学総長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	高麗大学校前総長
77	オウ ショウコウ 王 生 洪 生 1942. 6. 5	Doctor of Science	2003. 3. 25	復旦大学校長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	復旦大学校長
78	シャ ジョウブ 謝 繩 武 生 1943. 11. 22	Doctor of Science	2003. 4. 1	上海交通大学校長として研究教育の向上に献身するとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	上海交通大学校長
79	ダニエル オ バーンスタイン Daniel O. Bernstine 生 1947. 9. 7	Doctor of Laws	2003. 4. 1	ポートランド州立大学学長として研究教育の向上に献身するとともに早稲田オレゴンプログラムの指導者として国際教育の発展向上に貢献した功績による。	ポートランド州立大学学長
80	コ シン ポ 辜 振 甫 生 1917. 1. 6	Doctor of Laws	2003. 4. 16	国際的経済人として、台湾と日本の絆を結ぶ民間人としてアジア太平洋地域経済の発展に貢献した功績による。	台湾総統府資政
81	リー クァンユー Lee Kuan Yew 生 1923. 9. 16	Doctor of Laws	2003. 6. 4	長きに亘りシンガポール共和国首相の要職を務め経済発展に多大な貢献をなすとともにアジア太平洋地域の友好関係の構築に努めた功績による	シンガポール共和国上級相

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
82	おわだ ひさし 小和田 恆 生 1932. 9. 18	Doctor of Laws	2004. 3. 25	国際社会における日本の役割と存在感を高めるとともに本大学アジア太平洋研究科教授として教育研究の発展に寄与した功績による。	国際司法裁判所 判事
83	リシャール デスコワ Richard Descoings 生 1958. 6. 23	Doctor of Laws	2005. 4. 1	パリ政治学院院長として本大学との学術交流を推進するなど国際社会における教育文化の発展に寄与した功績による。	パリ政治学院 院長
84	リ エンテツ 李 遠 哲 生 1936. 11. 29	Doctor of Science	2004. 4. 1	人類社会のための科学分野の発展に多大な貢献をなすとともに台湾と日本との学術交流の主導的役割を果たしてきた功績による。	台湾中央研究院 院長
85	ジョセフ・スティグリッツ Joseph E. Stiglitz 生 1943. 2. 9	Doctor of Laws	2004. 4. 20	新しい経済学体系の確立により国際的な貢献をなすとともにコロンビア大学教授として優秀な後継者の育成に寄与してきた功績による。	コロンビア大学 教授
86	ソウ ケン 宋 健 生 1931. 12. 29	Doctor of Science	2004. 9. 29	中国の科学技術の発展に多大な貢献をなすとともに中国日本友好協会会長として早稲田大学が進める中国との学術交流の発展に寄与した功績による。	中国日本友好 協会会長
87	オ ユン デ 魚 允 大 生 1945. 5. 22	Doctor of Laws	2005. 3. 25	国際ビジネスと金融の分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	高麗大学校 総長
88	コ ヘイ リン 顧 秉 林 生 1945. 10. 8	Doctor of Science	2005. 3. 25	物理学の分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	清華大学校長
89	チャー ソン ネ 趙 錫 來 生 1935. 11. 19	Doctor of Science	2005. 3. 25	韓国の繊維産業を復興させるとともに韓国校友会会長として国際交流の促進に尽力し本大学の発展に寄与した功績による。	本大学韓国校友会 会長、暁星グ ループ会長
90	ピン イ ホウ 閔 維 方 生 1950. 10. 21	Doctor of Laws	2005. 4. 1	中国の高等教育分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	北京大学校務委 員会主席

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
9 1	カルロス・ゴーン Carlos Ghosn 生 1958. 6. 23	Doctor of Laws	2005. 4. 1	革新的な企業経営を実践するとともに卓越した経営手腕と指導力を発揮し日本経済の復活に尽力した功績による。	日産自動車(株)取締役社長 兼 CEO
9 2	ウィリアム・ヘンリー・ゲイツ三世 (ビル・ゲイツ) William Henry Gates III (Bill Gates) 生 1955. 10. 28	Doctor of Science	2005. 6. 28	ソフトウェア業界の急速な発展における指導的役割を果たすとともにわが国の高度情報化社会の推進に尽力した功績による。	マイクロソフトコーポレーション会長 兼 チーフソフトウェアアーキテクト
9 3	ハン ウン カク 潘 云 鶴 生 1946. 11. 6	Doctor of Science	2005. 9. 21	コンピュータサイエンスの分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	浙江大学校長
9 4	ホルスト・アルバハ Horst Albach 生 1931. 7. 6	Doctor of Laws	2005. 10. 3	コブレンツ・ビジネススクール教授として本大学との学術交流を推進するなど国際社会における教育文化の発展に寄与した功績による。	コブレンツ・ビジネススクール教授
9 5	リヒャルト・フォン・ヴァイツェッカー Richard von Weizsäcker 生 1920. 4. 15	Doctor of Laws	2005. 10. 20	ドイツ連邦共和国の平和と安定に尽力し国民に勇気と希望を与えるとともに人類の相互理解と世界平和の促進に貢献した功績による。	元ドイツ連邦共和国大統領
9 6	グ ドゥ フェ 具 斗 會 生 1928. 9. 12	Doctor of Laws	2005. 10. 23	革新的な企業経営を實踐し韓国の経済発展に寄与するとともに高麗大学校校友会会長として本学との相互交流推進に寄与した功績による。	L G 創業顧問、 前高麗大学校 校友会会長
9 7	マハティール・ビン・モハマト Mahathir bin Mohamad 生 1925. 12. 20	Doctor of Laws	2005. 12. 3	マレーシアの平和と安定に尽力し国民に勇気と希望を与えるとともにマレーシアに対する国際社会の信頼を高めた功績による。	前マレーシア 首相
9 8	ワンガリ・マータイ Wangari Muta Maathai 生 1940. 4. 1	Doctor of Laws	2006. 2. 13	ケニア共和国における平和と安定および環境保護に尽力し国内のみならず国際社会にも勇気と希望を与えた功績による。	ノーベル平和 賞受賞者
9 9	すえよし こういち 末 吉 興 一 生 1934. 9. 20	Doctor of Laws	2006. 3. 25	アジア地域の文化と経済の発展に多大な貢献をなすとともに本大学情報生産システム研究科の開設に寄与した功績による。	北九州市長

番号	氏名	学位の種類	贈呈年月日	贈呈理由	学位贈呈時の職
100	リー・C・ボラーンジャー Lee C. Bollinger 生 1946. 6. 15	Doctor of Laws	2006. 4. 1	法学の分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	コロンビア大学学長
101	スルタン・ビン・アブドゥル アジーズ・アルサウド 皇太子 H.R.H. PRINCE SULTAN BIN ABDUL-AZIZ AL SAUD, 生 1931. 11. 10	Doctor of Laws	2006. 4. 7	サウジアラビア王国における環境保護および科学技術の推進に貢献するとともに世界的支援事業を展開された功績による。	サウジアラビア王国皇太子
102	うつみ よしお 内海善雄 生 1942. 8. 14	Doctor of Laws	2006. 12. 7	国際電気通信連合事務総局長として国連世界情報社会サミット開催等を通し国際通信分野発展へ貢献した功績による。	国際電気通信連合事務総局長
103	ヴァーツラフ・クラウス Václav Klaus 生 1941. 6. 19	Doctor of Laws	2007. 2. 13	「チェコ経済の奇跡」といわれる経済成長率の達成と安定した平和な国づくりへの貢献、およびチェコセンター創設を通じたわが国との文化交流への貢献による。	チェコ共和国大統領
104	ナムバリー・エンフバイヤル Nambaryn Enkhbayar 生 1958. 6. 1	Doctor of Laws	2007. 2. 28	モンゴル国における安定した経済成長達成への貢献と日本とモンゴル間の「総合的パートナーシップ」の構築に向けた積極的な活動への貢献による。	モンゴル国大統領
105	ローレンス・J・ラオ Lawrence J. Lau 生 1944. 12. 12	Doctor of Laws	2007. 3. 25	優れた経済学者として活躍する傍ら香港中文大学学長として本学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	香港中文大学学長
106	シー・チョンフォン Shih Choon Fong 生 1945. 10. 23	Doctor of Science	2007. 3. 25	破壊力学分野において優れた研究業績を上げる傍らシンガポール国立大学学長として本学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	シンガポール国立大学学長
107	ヘンリー・A・キッシンジャー Henry A. Kissinger 生 1923. 5. 27	Doctor of Laws	2007. 4. 1	アメリカ合衆国第56代国務長官として国際平和実現に貢献した功績、および日米関係において友好的な外交関係の発展への貢献し、特に沖縄返還の際に重要な役割を果たした功績による。	アメリカ合衆国第56代国務長官
108	とよだ しょういちろう 豊田章一郎 生 1925. 2. 27	Doctor of Laws	2007. 4. 1	卓越した指導力によりトヨタ自動車株式会社を牽引し、また優れた技術者として科学技術への深い造詣により本学との産学連携推進を始め科学技術と教育界への発展に寄与した功績による。	トヨタ自動車株式会社取締役名誉会長

109	ユルゲン リュットガース Jürgen Rüttgers 生 1951. 6. 26	Doctor of Laws	2007. 10. 29	ドイツ連邦共和国の教育学術研究技術大臣時にEU内での大学間連携を大きく推進し、また本学ボン・ヨーロッパセンターのあるノルトライン・ヴェストファーレン州首相として本学を始めとした日独間の学術、経済交流発展に寄与した功績による。	ドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン州首相
110	トゥリリオ デ マウロ Tullio De Mauro 生 1932. 3. 31	Doctor of Letters	2008. 4. 1	イタリアの公教育および学術研究の社会的発展への尽力と共に、優れた言語学者として本学を中心とした日伊間の学術交流の架け橋となりその発展に寄与した功績による。	ローマ大学 ラ・サピエンツァ 名誉教授
111	パク ジョング 朴 鍾久 生 1931. 12. 4	Doctor of Laws	2008. 4. 1	革新的な企業経営を実践し韓国の経済発展に寄与するとともに高麗大学校校友会会長として本学との相互交流推進に寄与した功績による。	森久通商創設、 前高麗大学校 校友会会長
112	ロバート J. シルマン Robert J. Shillman 生 1946. 4. 6	Doctor of Laws	2008. 9. 21	マシン・ビジョン・システムを開発し国際的な情報化社会の実現に貢献すると共に本学の起業家養成に取り組む姿勢に理解を示し、支援を行った功績による。	米国コグネックスコーポレーション会長兼 最高経営責任者
113	リチャード C. レビン Richard C. Levin 生 1947. 4. 7	Doctor of Laws	2008. 10. 16	大学における持続的発展という課題に多大な貢献をなすとともに本大学との友好協力関係の促進に貢献した功績による。	エール大学総長
114	アル ゴア Al Gore 生 1948. 3. 31	Doctor of Laws	2008. 11. 19	地球環境保護の重要性を説き、持続可能な社会発展への代替モデルを提示する活動を通して国際社会に展望と指針を示した功績による。	アメリカ合衆国 第45代副大統領 ノーベル 平和賞受賞者
115	ケネス J. アロー Kenneth J. Arrow 生 1921. 8. 23	Doctor of Laws	2009. 3. 28	現代経済学の確立に多大な貢献をなし幅広い学問分野へ影響を与えた功績による。	スタンフォード大学名 誉教授 ノーベル 経済学賞受賞者
116	ガビン ブラウン Gavin Brown 生 1942. 2. 27	Doctor of Laws	2009. 4. 1	数学の分野に多大な貢献をなすと同時に日豪間を始めとする本学の海外交流の発展に寄与した功績による。	オーストラリア 王立科学協会創 設所長
117	ブンヤシット チョークワタナー Boonsithi Chokwatana 生 1937. 7. 25	Doctor of Laws	2009. 4. 1	タイ王国と我が国の産業界の連携に大きく貢献するとともに日タイ両国の架け橋となる多くの人材の育成に寄与してきた功績による。	タイ王国サハグル ープ会長
118	スティーブン J. トラッテンバーグ Stephen J. Trachtenberg 生 1937	Doctor of Laws	2009. 4. 2	高等教育改革や大学行政に多大な貢献をなすと同時に日米間を始めとする本学の海外交流の発展に寄与した功績による。	ジョージ・ワシントン大 学名誉学長

119	ひえだ ひさし 日枝 久 生 1937. 12. 31	Doctor of Laws	2010. 4. 1	卓越した指導力と先見性を持った経営戦略の展開により株式会社フジ・テレビジョンを牽引すると共に、放送界の発展に貢献した。本学の商議員会長等として維持、発展に寄与した功績による。	(株)フジ・メディア・ホールディングス代表取締役会長 (株)フジ・テレビジョン代表取締役会長、本学商議員会長
120	まつうら こういちろう 松浦 晃一郎 生 1937. 9. 29	Doctor of Laws	2010. 4. 1	アジアから初のユネスコ事務局長を務め、教育の普及、文化財の保全等に貢献した。本学における国際理解の浸透に寄与した功績による。	前ユネスコ事務局長
121	さくらい まさみつ 桜井 正光 生 1942. 1. 8	Doctor of Laws	2010. 4. 1	株式会社リコーを総合オフィス機器企業へと躍進させ、経営上の成長に多大な貢献をした。また、企業や経営の将来像を提言し、経済界全体を牽引した。本学の発展についても卓抜した助言により寄与した功績による。	株式会社リコー代表取締役会長 経済同友会代表幹事
122	シュウ キホウ 周 其鳳 生 1947. 11. 5	Doctor of Science	2010. 4. 1	液晶高分子学の分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	北京大学校長
123	イ ギス 李 基秀 生 1945. 12. 30	Doctor of Laws	2010. 4. 2	法学の分野に多大な貢献をなすとともに本大学との協定に基づく友好協力関係の促進に貢献した功績による。	高麗大学校総長
124	てらしま じつろう 寺島 実郎 生 1947. 8. 11	Doctor of Laws	2010. 4. 2	産業界、学界、政府機関、民間全ての分野を卓抜した判断力、提言力で牽引した。本学においてもアジア地域の理解浸透、教育研究の発展に多大な寄与をした功績による。	多摩大学学長、 (株)三井物産戦略研究所会長、 (財)日本総合研究所会長
125	イ ゴンヒ 李 健熙 生 1942. 1. 9	Doctor of Laws	2010. 9. 20	新経営を提唱するとともに、サムスンを品質や機能を重視する質中心の企業に革新し、名実ともに世界一流の企業へと躍進させた。広く社会貢献活動を展開し、日韓の経済協力と友好関係に多大な寄与をした功績による。	サムスン会長
126	ギ オウシュウ 魏 應州 生 1953. 7. 20	Doctor of Laws	2010. 9. 21	天津で食品会社を設立し、先見性のある経営戦略により、「康師傅」即席麺で名高い世界規模の総合食品メーカーへと成長させた。本学においても、大規模な奨学金制度を創設し、本学の発展に多大な寄与をした功績による。	頂益(ケイマン島)ホールディングスコーポレーション総裁